「平成２８年度　人権週間　朝礼」

あと　すこしで二学期がおわります。
先週までは、霜がおりた日があったり
冷たい北風が　ビューと吹いたり
週末は　ぽかぽかとしたりしていましたが
今日は　雨上がりの朝です
秋が終わり
冬本番を迎えようとしています。

今日は、すこしむずかしい話をしますが、
大事なことなので、よく聞いて下さい。

まえ　みなさんに　ひとつ詩を紹介しましたが
覚えていますか　もう一度読んでみます

「こだまでしょうか」　金子　みすゞ

「遊ぼう」っていうと
「遊ぼう」っていう。

「馬鹿」っていうと
「馬鹿」っていう。

「もう遊ばない」っていうと
「もう遊ばない」っていう。

そうして、あとで
さみしくなって

「ごめんね」っていうと
「ごめんね」っていう。

こだまでしょうか、
いいえ、誰でも

普段のみなさんの生活を振り返ってください
みんなが　生活していると
他の人と　トラブルがおきることもあります
いつも仲良く　出来ればいいのですが
人間はなぜか　けんかになってしまうこともあります

そんなとき　君たちはどうするのでしょうか
また　どうしたらいいのでしょうか
頭でわかっていても
どうしても　心配りのない
温かくない言葉のおかげで
なかなおりどころか
さらに　よりひどくなってしまうこともあります

みんな知っていますか
きのうの日曜日４日から
世界人権宣言が国連で議決された１０日までの一週間は
「人権週間」です。

「人権」とは
人が人として生きるとき、
守られるべき基本の権利です。
人が人間と呼ばれるための権利です。
そして、わたしたちは、
まわりにいる、
他の人の「人権」もまもらなければなりません。

これを、学校での生活で言うと、
萩山の子　ひとりひとりが、
気持ち良く生活できねばなりません。
そして、萩山の子　ひとりひとりが
みんなの生活が気持ち良く過ごせるように
心配りをしなければなりません。

ところが、この大切なことが
守らずに
悲しい出来事が　起こるときがあります。
けんかになったり
なかまはずれが起きたり
悪口がいっぱいになったり
あったはずのものがなくなったり
だれだ
そういうことをするのは
ついついではすまないぞ
いたずらではすまされないぞ！
なかまはずれにされてしまう
とんでもなく悲しいことだぞ！
悪口をいわれ　悲しい思いをする
悲しませて何がおもしろい！
かっとしたから相手をたたく
いいわけないよな！
いかなる理由があっても！

中国におお昔、「孔子」という思想家がいて
その考えがまとめられている本「論語」に
次のようなことばがあります。

「おのれの欲せざることは
ひとにほどこすことなかれ」と
むずかしいですね。

わかりやすく簡単に直すと
「自分がしてほしくないこは　他の人にしてはいけません」

ということです。
このあたりまえなことが
わからずに
他の人に
大きな迷惑と悲しみを与えていけません。
萩山の子が
こころやすらかにきもちよく
学校で生活するためには
お互いが
先ほどの言葉を守ってくれるといいですね。
もう一度いいます。
「自分がしてほしくない事は　他の人にしてはいけません」

最後に、君たちと同じ　小学生の子がつくった
詩を読んでみたいと思います

「けんか」　小五

ある日　友達とけんかした
友達がいろいろいってきた
わたしも　まけずに言い返した
「絶対自分が正しい」
そう　ずっと思っていた
帰り道　わたしはいやな気持ちだった
家に帰ると　さみしい自分と
怒っている自分がいた
「本当に自分は正しいのか」
そのことを考え出した
そして　友達に勇気を出してあやまった
「ごめんね」というと
「ごめんね」と返ってきた
なんだか　心があたたかくなった
はじめからこうすればよかった
友達と顔を見合って笑った

みなさんも　お互いに気持ちよく
クラスで過ごしたいですね

これで校長先生のお話を終わります。